	No. 12 —	1 基本事務事	業名 地均	域公共施言	设管理事務	事	務事業	名 吉野	アコミュニティセン	/ター管理	事務 4	公的関与 6	シート作成日	平成23年	丰6月14日
	部局名		市民部		課名	吉野	予支所地	域課	主務課長	名	井上		/一ト作成者名	岡	村康久
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				金•負担金•支		業運営		直営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		0	6 内部的	管理事務・その)他 ^事	木廷芒		一部委託	4 褙	亅
					、共に築くまち				実施計画				業の開始・終了		
	総合計画				Fィ活動の促進		_		1 該当				平成 年		設定なし
		主要施策	(3)	コミュニラ	Fィ活動の活性	t化支护	爰	<u> </u>	2 非該当	木	見拠法 [・]	令等 阿波市コ	ミュニティセンター語	2置及び管	理に関する条例
		対象(誰を、 何を)	施設利用]者											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	施設の利	用者が使いや	すい施	設の管理	星を行うこ	ことで、施設の科	家働率向_	-を図り	ります。			
PL		たいのか)	今年度	気軽に利	用できる施設に	します	0								
AN					ヽますか。(主な										
N)			維持管理を行う	ことで利	削用者が	使いやる	すい施設を目指	します。					
	事業の)	者の申請	受付の充	実を図ります。										
	活動内容	3													
		4													
		5		I = 1 ++ 1 -		m I I				,					
		指標名	<u> </u>	【五集信	ては指標設定理	里田 .	単位		平成 21			成 22 年度	平成 23		最終目標
	数値目標	コミュニティセンタ-	一利用件数	年間延べ	利用件数		件	目標 実績		700 810		850 800		850	900
	(事業の目的 及び活動内							_ 		810		80	8		
	次の活動内容の達成度						-	実績					+		
	を測る指標)							<u>天順</u> 目標							
								実績							
	予算費目	会 計			会計		款	2 総系	条費	項	1 糸	総務管理費	1 8 8	コミュニティ	センター管理費
			平	成 2		算	平成	22	年度決算	平成	23			備考	
		国庫支出	金			千円			千円			千円	7		
		県 支 出	金			千円			千円			千円	円		
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円			
D	但按书术具	その他特定則				千円			千円			千円	<u></u> l		
0		一 般 財	源		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	千円			3,320 千円			4,438 ∓₽			
		計(A)			3,881				3,320 千円			4,438 千円			
	L 1/1 21 5 / \$	正職員工数·網		200 人	1,257	千円	0.200 .	人	1,225 千円	0.200	人	1,209 ∓P	"		
	人件費(B)	臨時·嘱託贈		000 1			0.000			0.000					
		臨時·嘱託工数·		000 人			0.000	人	0 千円	0.000	人	0 ↑ P			
	王净事	業費(A+B)			5,138	十円			4,545 千円			5.647 千円	51		

			チェック項目		_	次評価	一次評価	の説明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい	定期的にコミュニラ 利用する人が増え	ています(フラ	○ 4	とない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	ダンス・英会話・中 絵・詩吟等各種講	国語講座・墨	೦ ಕ	ひい	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	間でコミセンを使う	ことが定着し	● to	5 3	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない	ています。そのため な管理は必要です	b施設の適正 <u>。</u>) (る	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえなし	ヽ ● いえる	利用者にとって幅. 養・仕事・スポーツ		○ l'	えない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえなし	ヽ ● いえる	できる施設となって	いて、利用の	○ l'	えない	● いえる
C	姓	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	頻度が高いため、 込みが重複しない	ように管理を	ं व	る	● しない
HECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できなし	ヽ ● できる	するのは有効とい	えます。 	O 7	きない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣っている	平成22年度は、850 ました。小会議室(会	件の利用があり 議室・研修室)	O B	標に比り	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	:がっていない	の利用は年間を通し 最終目標の年間90	て予約があり、	<u></u> ත	まり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達	 成している	は、大会議室・和室・	調理室の利用	● 概	ね達成し	ている
	{	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。			成している	- が増えるよう努力す。 す。	る必要がありま	0 +	分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	平成22年度は、二費を削減するため		〇 篇	高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	件費を教育委員会	にお願いし	⊙ 7	<u>:</u> きる	○ できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	て、スポーツセンタ ミセンの管理を一様		O . Т	53	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない	を削減しました。		O to	53	● ない
			一次評価					.次評価			
	評値	三点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価			有効性 達成		生	総	合評価
	今後	をの しゅうしゅう	4	F筀		3 〕拡大∙充実		 3 ┃○ 方法改善	Ė () 民間	_ A]委託等
Δ		5件		<u> </u>		○ 縮小 ○	統合/終期設定	○ 廃止/休		<u> </u>	15,10 ()
AC			佐乳の老生ルに伴い佐田笠毛が増えて現れがもります。立代00年度は	<u>+</u> _=	¥	二岁	マ評価での指摘事:	頁及び一次評	価との	相違点	
T-0		題	施設の老朽化に伴い修理箇所が増える恐れがあります。平成23年度は 室のバトン(垂れ幕用)の修理を行います。他にも雨漏りするところがあり 理を計画していかなければなりません。		修地		活動の場として、有効				:備について
Ň	改造と実計		施設の大幅な改修や修理が望めない状況では、少しずつでもできるところ 理をしていきます。	らから	id 修	、定期的な点検	を行い、適切な維持	管理に努めての	ください。	0	
	委員 指摘	員会 事項									

	No. 12 —	2 基本事務事	業名 地址	或公共施言	设管理事務	事務事	業名き	野支所管理事	務	公的	関与 6 シ	·一卜作成日 平成23	年6月14日
	部局名		市民部		課名	吉野支所	地域課	主務課長	名	井上邦			同村康久
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務			助金・負担金・支		業運営方	注 🔽 1 值		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持		6 内部	部管理事務・その)他 The state of the state of	未连占力			補助等
					、共に築くまちて			実施計画				の開始・終了	
	総合計画)自立・持続	続可能な地域系	圣営の推進		○ 1 該当				·成 <mark>年 ☑ 期間</mark>	引設定なし
		主要施策					(● 2 非該当	植	拠法令等	等		
		対象(誰を、 何を)	支所利用	用者及び市	の職員								
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	新庁舎完	成までの間、利用	用者が気軽	に利用で	でき、職員は快適に	こ職務を行	fえるよう(こします。		
PL		たいのか)	今年度	支所の適	切な維持管理を	行います。							
14Z					ゝますか。(主な	もの5つま	で)						
N		① 支所の維											
	事業の	② 明るく清潔											
	活動内容	~	の環境で	ゔくりをしま [.]	す。(花壇の清掃	·管理)							
		4											
		5	-] = & =	•			T					
		指標名	<u> </u>		スは指標設定理		D +#	平成 21	年 度	平 及	22 年度	平成 23 年度	最終目標
	数値目標			指標を設めません	定すべき事業で	ば	目標実績						
	(事業の目的 及び活動内			0)75 67	<u> </u>		目標						
	容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会 計		一般	会計	款		· %務費	項	1 総務	S 管理費	目 12 支所費	
			ম	7成 2	1 年度決算		22		平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出	金		Ŧ	·円		千円			千円		
		県 支 出	金		Ŧ	-円		千円			千円		
	直接事業費	地 方	債			円		千円			千円		
D	但该事未具	その他特定則				円		千円			千円]	
0		一般財	源		13,729 1			16,553 千円			15,110 千円		
		計(A)	(13,729 ∓			16,553 千円			15,110 千円		
	1 /4 曲 / = \	正職員工数:		.000 人	18,850 T	円 3.000	人	18,377 千円	3.000	人	18,133 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		000	0 -	0.000		0 ==	0.000		0 ==		
		臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	栓質 U	.000 人	0 ∓ 32.579 ∓		人	0 千円 34.930 千円		<u>۸ </u>	0 千円 33,243 千円	4	
	土冲争。	大貝(ATD)			32,379			34,530 干円 l			しい,と40 十円	i .	

			チェック項目		_	次評価	一次評価の説明	二次	(評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	新庁舎が完成するまでの間、支 所機能を維持するため、支所の	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	管理業務は必要です。	○ ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない		ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		○ いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえなし	ハ ⊙ いえる	市民の方に便利に利用して頂く ために支所の適切な管理は有効	○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえなし	ハ ⊙ いえる	だと思います。	○ いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない		する	● しない
CHE		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できなし	ハ ⊙ できる		○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣っている	目標を設定していないため評価 できません。	○ 目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	:がっていない	(28270)	○ あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達	成している		● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達	成している		○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	適当	吉野支所だけではなく・土成支 所・市場支所どの支所でも同じ	○ 高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	対応が市民の方にできます。効	● できる	○ できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	率はよいと思います。	🔾 ಹಕ	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		🔾 ಹತ	● ない
			一次評価				二次評価		
	評値	甲	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価			有効性 達成度 効率	性総	合評価
	全征	を の	4	4等		3 〕 拡大・充実			A 引委託等
Α		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止				統合/終期設定 ○ 廃止/休		13464
AC							評価での指摘事項及び一次評		<u> </u>
T-0		面の	吉野支所は老朽化が進んでいて、耐震もできていないため新庁舎が早く これ以上維持補修にコストが係らないようにする必要があります。	完成	新		大規模な修繕・改修は難しい状況 効率的な維持管理につとめてくださ		
N	と多	革案 実行 ·画	合併以降人も減り、歳出の削減にも取り組んできました。早く新庁舎がで望みます。	きる。			が早的な融行官項に フとめ てくだる について、検討が必要です。	: v · 。 ひ / こ、 利 /]	口注以及び
		員会 事項							

	No. 12 —	3 基本事務事	業名	農業集落	排水	一般管理事	務	事務事業	と 農	業集落排7	トー船	设管理事	务 公的	内関与 6	シートイ	₣成日	平成23年	年6月14日
	部局名		市民	部		課名	吉	野支所地	也域課	主務認	果長名		井上非	『宏	シート作	成者名	岡	村康久
	事業区分	○ 1 ソフト				3 経常的事務]金•負担金			美運営ス		1 直営			≧部委託
	争未区力	○ 2 ハード				4 施設の維持	宇管理		6 内部	『管理事務·		他	建五人		2 一部委		4 有	助等
						色のまちづくり				実施計	画				事業の開			
	総合計画	基本計画(施										平月		年 ~	平成			設定なし
		主要施策	ξ ((3)施設	の維	持管理と加入	、普	及の促進		2 非該当	<u> </u>	根	拠法令	·等 農業第	集落排水	拖設設置	及び管理	に関する条例
		対象(誰を、 何を)	農業集	集落排水	供用	区域(一条西地	!区•村	市原東地區	区)									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終	的公共	用水	の水質保全と第	集落 排	非水加入率	を100	0%に近づけ	ます。	,						
PL		たいのか)				こ加入しながら				ない家の接続	売の促	進を図りる	ます。					
AN		具体的にどの																
N)	排水を	ト加入者!	に、広	報その他の方	法で	呼びかけ	接続の	促進を図りる	ます。							
	事業の	2																
	活動内容	3																
		4																
		5	_	1-1-6-6-	- 1	, , , , le , le = 0 - 1 1-		3271		1 - r			— '			- 15		
		指標名			-式又	は指標設定理	出	単位		平成	21 4		半风	22 年度		成 23		最終目標
	タメ゙៲ピ口 ゚゚゚゚゚゙゙゙ヿ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚	農業集落排水	施設技	^妾 _{接続}	戸数(こより指標を図	る	戸	目標			745			776		776	776
	(サベいロロ)	続戸数							実績 目標			514			67			
	及び活動内 容の達成度								実績									
	を測る指標)			_					天 棋			+						
									実績									
	予算費目	会 計	農	業集落	非水	事業特別会計		款		務費		項	1 総	務管理費		目 1	一般管理	<u></u>
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		Î	平成	21			平成	22	年度決	算	平成	23	年度予算			備考	
		国庫支出	金				千円				千円				f円			
		県 支 出	金			:	千円				千円			=	f円			
	古拉市安弗	地 方	債			-	千円				千円			=	f円			
D	直接事業費	その他特定則				=	千円				千円			=	千円			
0		一 般 財	源			3,968	千円			257	千円			390 =	f円			
		計(A)				3,968	千円			257	千円			390 =	千円			
		正職員工数·		0.400	人	2,513	千円	0.400	人	2,450	千円	0.400 ,	ا	2,418 =	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯																
		臨時·嘱託工数·	·経費	0.000	人	0 :		0.000	人		千円	0.000 ,	\ ا	0 =				
	全体事業	業費(A+B)				6,481	千円			2,707	千円			2,808 =	千円			

			チェック項目		_	次評価		— ;	次評価の	の説明	月		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大	きい	農業集落技 1年度は6	8. 9%t	ら平	成22年	0	少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	3	度は73. (れからも集	%となっ	ていた	ます。こ	0	ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● なし	۸,	及び接続の				0	ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いた	はい	す。				0	いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえなし	ハ ・ いえ	₹8	農業集落接設の適正な				0	いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえなし	ハ ・ いえ	₹る	施設を大り	りに使って	て頂く	ためにも	0	いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● Uta	まい	農業集落技有効といえ		管理	事務は	0	する	● しない
CHEC		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できなし	ヽ ⊙ でき	≛ る					0	できない	● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣ってし	いる	平成22年 4. 1%接線				0	目標に比り	べて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	:がっていない		これは広執	ほ活動の)	成果と	こいうより	0	あまり上が	っていない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達	成している		マンションスより加入戸				•	概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達	成している		えました。				0	十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適	当	広報には降るなど毎年				0	高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	•	できる	○ でき	きない	います。	· 少· (a u ·)	r A C	.11.5	•	できる	○ できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	ない	۸,					•	ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	なし	۸,					0	ある	● ない
			一次評価							次評				
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価		必要性	1	剪 效性	達成原	吏	効率性	±	総	合評価
	今後	をの しんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	4	千 笙			<u> </u> 	_ 4	3 維持	O	<u> 2 </u> 方法改善	Ė		<u>B</u>
Δ		句性		<u> </u>	_	○ 縮小		統合/終其			<u> </u>		<u> </u>	7 40 17
ACT				1.45	_		二次	評価での打	指摘事項	頁及に	バー次評	価と	の相違点	į
10	当課	面の :題	平成22年度は、加入戸数776戸・接続戸数567戸・未接続戸数209戸います。この209戸の中に市営住宅(大野神団地・野田原団地)約100万れています。市営住宅を水洗化することで接続率86%になります。		含ま								広報・啓乳	発を図って下さ
N	と事	草案 実行 画	集落排水の加入接続率を上げるためには、市営住宅の水洗化をしない。 ません。住宅課の対応を望みます。	艮り望	」 【め	。使用料 <i>の</i>)適正(化に向けて	、検討の	必要	があります	•		
	委員 指摘	員会 事項												

	No. 12 —	4 基本事務事	業名 農業	集落排刀	K施設管理 事	務	事務事業	美名 一条西	地区農業集落排水事業	業施設管理·運	営事務 公的関与 3	シ	一卜作成日 平成23年	年6月14日	
	部局名		市民部		課名	吉野	野支所地	地域課	主務課長	名	井上邦宏	シー	ト作成者名 岡	村康久	
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				金•負担金•支		業運営方法 -	」1 直		产部委託	
	事 术區力	○ 2 ハード			4 施設の維持			6 内部管	管理事務・その)他	术是日月			輔助等	
		基本構想(政)			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施		下水道 <i>σ</i>			/- \		1 該当	平					
		主要施策	(3)	施設の維	持管理と加え	人•旹》	及の促進		2 非該当	1 1	! 拠法令等 農	莱集洛	排水施設設置及び管理	!に関する条例	
		対象(誰を、 _. 何を)	一条西地	区農業集	落排水										
		目的(どうい う状態にし	最終的	適切な施	設管理を行いた	ながら、	、公共用	水域への	処理水の水質	保全を目的	的とします。				
PL			今年度	施設から	排出される汚漏	尼の量を	を抑えな	がら処理	水の水質保全な	を目指しま	す。				
A		具体的にどの						<u> </u>							
N		① 施設の適													
	事業の	<u> </u>	非出される	δ 処理水 σ)水質を安定さ	せます	0								
	活動内容	動内容 ③ 													
		⑤ 指標名	,	11. 哲子で	スは指標設定理	囲出	単位		平成 21	左庄	平成 22 年	中	平成 23 年度	最終目標	
					くしな1日1宗政ルン まれる水分量を1	- , 18		目標	十八 21	<u> </u>		及 18000			
	数値目標 (事業の目的	汚泥に含まれる水: 減			になるがが重で「)量が減ります。	N17	PPM	<u> </u>		15276		17640		20000	
	及び活動内							目標							
	容の達成度							実績							
	を測る指標)							目標							
								実績							
	予算費目	会 計			事業特別会記		款	2 事第		項	1 施設管理費			区施設管理費	
			平	成 2	1 /200		平成	22	年度決算	平成	23 年度		備考		
		国庫支出				千円			千円			千円			
		県 支 出	金			千円			千円			千円			
D	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定則	債 *酒			千円			千円 14,224 千円		19.084	千円 1 千円			
O		一般財	源源			千円			14,224 十〇		19,004	千円			
		計(A)	mx -			千円			14,224 千円		19,084				
		正職員工数:約	圣費 1.5	500 人		千円	1.500	人	9,189 千円	1.500		7 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		, ,							,				
		臨時·嘱託工数·	経費 0.0	000 人	0	千円	0.000	人	0 千円	0.000	人 () 千円			
	全体事業	業費(A+B)			22,831	千円			23,413 千円		28,15	千円			

							ク項目					_	次評	価		_	·次評価(の説明	明		二次	評価	ī
		1.							確保できる等 響は大きくな		0	少ない	•	大き	()	公共用水 保全を安	定させるが	こめ、	適正な	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	 況σ)中、次	年度	以降実	施す	る緊急性が認	!められない。	0	ない	•	ある		汚泥の管 設の管理				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	句上の	のために	、現在	在の手段	殳、ブ	方法等の改善の	余地がある。	•	ある	С	ない		業者が同	じため、名	除分な	汚泥の	•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ					隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	0	いない	い	抜き取りた ます。	がないよう	チェッ	クしてい	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現で	するため	に、	事業内容	字が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	۰/ 🌘	いえる	<u>გ</u>	汚泥の抜が大幅に	き取り量に	こよっ	て経費	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ	化など、	施策	そへの貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえな	۰۱ 🌘	いえる	<u>გ</u>	水分量を	減らすよう	5目標	を設定	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施第	きの中で	類似	・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	L١	し、平成2 少しずつ [*]				0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	して	も成果	の向	上が期	待で	きない。		0	できな	۰، 🌘	できる	3	います。				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して	進捗状	況が	劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る	平成22年 8, 000P				0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	けして	成果が	あま	り上が	って	いないと思う	o	0	あまり」	:がって!	いない		7, 640P				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して	概ね目	標を	達成し	てい	ると思う。		•	概ね達	成してに	いる		います。				•	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	して	十分に	目標	を達成	して	いると思う。		0	十分達								0	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	ニコス	トが高	い。					•	高い	С	適当	á	供用開始				•	高い	0	適当
	効	2.	他の実施主体	このノ	'ウハウ	や新	たな制	度を	活用できる。		•	できる	С	できた	ない	め、効果I なっている			い高く	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果	見の関係	で、	実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない		1				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法	もの変更	など	により	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	0	ない		1				0	ある	•	ない
							— <u>;</u>	次評	·価								_	次評	価				
	評値	五点	必要性	7	有効性		達成度	<u>7</u> ±	効率性	総合評	価		必要		7	有効性	達成	叓	効率性	生	総	合評	価
		後の	3 ○ 拡大·充	宝		小卡丝	<u>3</u> £+≠ T	•	2 方法改善	B ○ 民間委託	エケ		3)拡	大•充	宇	4 │ ○ 現状	<u>3</u> 維持	• I	<u>2</u> 方法改善	±		B 乖	1年
		句性	○ 縮小		統合/				廃止/休止	〇 氏间安市	<u>L 1</u>) 統) 縮			<u> </u>			<u>万么战</u> 廃止/休	_			L Ţ
A	731	311	○ WIE • 1 ×		1170 111 /	15 241	以化		光 亚/					_)	評価での)			の相違点	į	
ACTIO			平成22年度は 量が増えるこ						をほぼ達成して 必要です。	ていますが、今	後もフ	農な	住環均	落排水 竟を守-	、施設 るた <i>と</i>	との適正な め、大変重	管理運営 要な事業	は、ク	公共用水均 。施設の約	成の水 維持管	K質汚濁を 管理に多額	- 防山 質の糸	¥費を要
N	改革と写		汚泥の抜き取りながら維持が					増え	こることがないよ	う管理業者と	連携を					っています 研究・検討					手も参考に	、効	率的な管
		員会 事項																					

	No. 12 —	5 基本事務事	業名農業	美集落排 る	水施設管理事	務	事務事業	業名 柿原東	[地区農業集落排水事	業施設管理・運	當事務 公的関与 3	シ-	一卜作成日 3	平成23年	6月14日
	部局名		市民部		課名	吉	野支所均	也域課	主務課長	名	井上邦宏	シー	-卜作成者名	岡	村康久
	事業区分	○ 1 ソフト		0	3 経常的事	務事ӭ	美	5 補助3	金•負担金•支	援 _車	業運営方法 🗔	1 直	営	□ 3 全	:部委託
	争未四万	● 2 ハード			4 施設の維		里	6 内部管	管理事務・その)他 ^{事:}	*连吕刀丛	2 —	·部委託	4 補	i助等
					境のまちづくり	J			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施		下水道の					1 該当	平		平月			設定なし
		主要施策	(3)	施設の約	推持管理と加.	入∙晋	及の促進		2 非該当	札	拠法令等 農業	集落:	排水施設設置及	及び管理	に関する条例
		対象(誰を、 何を)	柿原東地	区農業集	落排水施設										
		目的(どうい う状態にし	最終的	適切な施	設管理を行い	ながら	公共用水	く域への気	処理水の水質保	全を目的	とします。				
PL		たいのか)							がら処理水のス	k質保全を	目指します。				
A		具体的にどの						ご)							
N		0			泥の水分量を										
	事業の	0	排出される	る処理水の	の水質を安定さ	せます	<u> </u>								
	活動内容	<u> </u>													
		<u>(4)</u> (5)													
		指標名	Z	計質式で	スは指標設定	押山	単位		平成 21	年由	平成 22 年月	⊭	平成 23 4	午市	最終目標
	**- /士 □ 1·==				まれる水分量が			目標	十八 21	14000		5000	T 19% 25 -	17000	20000
	数値目標 (事業の目的	汚泥に含まれる水	分量		D量は減ります。	1.73.	PPM	実績		12952		6605			
	及び活動内							目標							
	容の達成度							実績							
	を測る指標)							目標							
								実績							
	予算費目	会 計			事業特別会認		款	2 事美		項	1 施設管理費		目 2 本		施設管理費
				- 成 2	21 年度決	_	平成	22	年度決算	平成	23 年度予			備考	
		国庫支出				千円			千円			千円			
		県 支 出	金債			千円			千円			千円			
D	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定則			16.770	千円 千円			千円 18,935 千円		23,227	千円 千円			
O		一般財	源		10,770	千円			千円		607				
		<u>,从 从</u> 計(A)	////		16,770	千円			18,935 千円		23,834				
		正職員工数·約	経費 1.	500 人	9,425		1.500	人	9,189 千円	1.500	人 9,067				
	人件費(B)	臨時·嘱託職			,										
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	000 人	0	千円	0.000	人	0 千円	0.000	人 0	千円			
	全体事業	業費(A+B)			26,195	千円			28,124 千円		32,901	千円			

						ック項目					_	次評価		_	·次評価(の説明	归		二次	評価	i
		1.						[、] 確保できる等 ・響は大きくな		0	少ない	•	大きい	公共用水 安定のた	め、適正な	な施設	め管理	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	!められない。	0	ない	•	ある	は必要で 場と同じで				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	句上のか	ために、	現在の手具	没、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない	て業者任	せにしなし	ハで業	者と一	•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート				隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない	緒に施設 ます。	管理を行	う必要	見があり	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	るために	、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	<i>1</i>	いえる	全て業者ん。処理を				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化	こなど、別	を策への貢	献度	が著しく高いと	:はいえない。	0	いえない	<i>1</i> •	いえる	泥の水分	量のチェ	ック等	を常に	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策0	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	一行うことで す。	安定した	連宮7	が行えま	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても	も成果の	向上が期	待で	ぎきない。		0	できない	١	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して近	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて劣・	っている	平成21年 ら平成22				0	目標に比べ	て劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して原	 成果があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり上	がっていた	ない	に水分量	が削減さ	れてし	います。	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して根	既ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成している		概ね目標います。	は達成で	きてし	いると思	•	概ね達成	ってい	3
		4.	目標設定に対	して	ト分に目	標を達成	して	いると思う。		0		成している		0.70				0	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	コスト	トが高い	0				•	高い	0	適当	施設の老 補修費が				•	高い	0	適当
	効	2.	他の実施主体	あノウ	ナハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できない	設使用料	は教養開	始以:	来変わっ	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果0	D関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない	でいません 悪いと思い		-め効	率性は	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法0	の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
						_	次評	価						_	=	次評	価				
	評値	三	必要性	有:	効性	達成原	芰	効率性	総合評	価		必要性	生 :	有効性	達成	隻	効率性	Ŧ	総	合評	·価
	△ 3	を の	3 ○ 拡大・充	宝宝	<u>4</u>	3 - ≤任 +±	0	2 方法改善	B ○ 民間委託	1年		<u>3</u>)拡大	<u> </u> :充実	4 ┃○ 現状	<u>3</u> 総持	<u> </u>	<u>2</u> 方法改善	<u> </u>		B 表記	1年
		句性			流合/終			廃止/休止	〇 氏间安瓿	<u>L 45</u>) 縮小		<u> </u>			<u>万丛以</u> 廃止/休			女百	L 寸
A	731		ं गान ।		ус ш / 	741HX /C		DLIL FILL					_	マ評価での					の相違点	į	
ACTIO								処理場は一条 が昼夜を問わ			す。 <u>な</u>		域の水質	質汚濁を防. 営は、環境が	止し、快通	質な住	環境を守る	るたる	か、農業集	落排	
N	と 計	画		さんなり	Jます。 Ŧ	成23年原		いと思います。? 柿原東地区のタ			攻障∥に			ながら、効素							-1.77 <u>-</u>
		員会 i事項																			

	No. 12 —	6 基本事務事業	に 農業	集落排水	機能強化対策事	業事務事	業名農業	集落排水事業(機能	強化)一条西	地区 公的関	与 6 シ	ノート作成日 平成	23年6月14日
	部局名	ī	市民部		課名	吉野支所	·地域課	主務課長名	各	井上邦宏		ート作成者名	岡村康久
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務			金•負担金•支		業運営方法	1 值		3 全部委託
	争未区力	② 2 ハード事			4 施設の維持	管理	6 内部	管理事務・その)他 ^{事:}	未连舌刀心	2 -	-部委託 🗌	4 補助等
		基本構想(政策						実施計画			事業	€の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策					•)1 該当	平		₣~ 平	成 23 年 🔲	期間設定なし
		主要施策	(2)	下水道事	業の計画的推	進	С)2 非該当	根	拠法令等			
		対象(誰を、 何を)	農業集落	排水一条	西地区処理施設	セ∙柿原東地	区処理施	設					
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	一条西地	区については、	不明水の流	入の阻止	と機器の機能回	復、柿原す	東地区処理 放	色設について	ては、ポンプ類を機能	強化します。
PL			今年度	柿原東地	区処理施設内 <i>の</i>	機器類は約	経年的に劣	ら化しています。	処理機能	を適正にする	らため、ポン	プ類の機能強化を行	います。
AN		具体的にどの。				もの5つま	で)						
N		① 古くなったオ											
	事業の	② 一条 柿原	共に不明	月水流入を	止めます。								
	活動内容	3											
		4											
		5											
		指標名		計算式又	(は指標設定理	由単位		平成 21	年度	平成 2	2 年度	平成 23 年度	最終目標
	数値目標	不明水の流入量が把掘ないため指標が設定で					目標						
	(事業の目的	7507元6万日保75100元	282700				実績						
	及び活動内 容の達成度						目標						
	を測る指標)						実績						
							目標 実績						
	予算費目	会 計	典業値	主茨排 _水	事業特別会計	款			項	2 施設惠	k 借 書	目 1 施設	
	了开具口	ДП	平				22	年度決算	平成		年度予算	備	
		国庫支出		1% <u>L</u>		- 円		26,800 千円	1 /20		7,600 千円		<i>.</i> ,
			金			-円		千円		<u> </u>			
			<u></u>			-円		26,800 千円		1	7,600 千円		
D	直接事業費	その他特定財				-円		6 千円			2,000 千円	1	
0			源		Ŧ	-円		千円			4 千円	1	
		計(A)			0 Ŧ	-円		53,606 千円		3	<mark>7,204</mark> 千円	1	
		正職員工数·経	費 0.0	000 人	0 =	円 1.000)人	6,126 千円	1.000	人	<mark>6,044</mark> 千円	1	
	人件費(B)	臨時·嘱託職和	锺										
		臨時·嘱託工数·紹	全費 0.0	000 人	0 1	円 0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円		
	全体事	業費(A+B)			0 T	- 円		59.732 千円		4	3.248 千円		

			チェック項目		_	·次評価		_	·次評価の	り説り	月		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大き	il)	処理施設 故障は適				0	少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない		ない	ある		きたすだい も大変な				0	ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	ない	1	なります。	機器類が	故障	する前	0	ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いな	(V	に点検・3 す。	を換をする	ことか	が必要で	0	いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえな	い の いえる	3	不明水の	流入を阻. することは			0	いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえな	い の いえ	3	の適正な				0	いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	しない	い	す。				0	する	● しない
CHEC		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できな	い ⊙ できる	る					0	できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣ってい	る	一条西に わって間	ついては、			0	目標に比べ	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり」	こがっていない		度の流入	量を見て	からて	す。柿	0	あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達	成している		原についなっている				•	概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達	成している		分かると				0	十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	á	当初の計ますが、対				0	高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● でき	ない	いると思い		≠≭≀₀	、進んし	0	できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	ない						0	ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない						0	ある	● ない
			一次評価				,		=	次評 [·]	価			
	評値	甲	必要性 有効性 達成度 効率性 総合			必要性		剪效性	達成原	臣	効率性	ŧ	総	合評価
	△ 2	を の	4			4 〕 拡大∙充	<u> </u>	4 ● 現状	<u>3</u> 維持	0	4_ 方法改善	<u> </u>		_ <u>A</u>]委託等
		句性		<u> </u>				統合/終			<u> </u>			J女心寸
C		- !				- 112		評価での					の相違点	(
ACT-O		面の !題	平成22年度から24年度にかけて、農業集落排水機能強化対策事業を利明水の流入を止める工事を実施します。この工事を行うことにより、処理がどれくらいになったか検証する必要があります。	利用して	減少	き朽化した機:	器の	機能回復複	と図り、効	率的7	で安定し <i>た</i>	-施設		-めに必要な
N	と 計	革案 実行 ·画	工事の検証結果を受けて、処理水の減少と汚泥の量の変化をチェックしす。	ている	きま	耳業です。補助	助基準	隼に基づき	、事業を持	推進し	て下さい	o		
	委員 指摘	員会 事項												

	No. 12 一 7 基本事務事業名 農業集落排水事業施設管理・運営事務 事務事業名 - 条西地区·柿原東地区農業集落排水使用料徴収事務 公的関与 6 シート作成日 平成23年6月14日											年6月14日				
	部局名		市民部		課名	古	野支所均	也域課	主務課長	名	井上邦宏	シー	ト作成者名	同村康久		
2517	事業区分	○ 1 ソフト			○ 3 経常的事務事業				カ金・負担金・支援		事業運営方法			全部委託		
		○ 2 ハード			4 施設の維)他 T	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□					
	総合計画				い環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施		下水道の整備					1 該当		成 17 <mark>年</mark>		成 年 ☑ 期間設定なし			
		主要施策	(3)	施設の約	推持管理と加	人·晋	及の促進		2 非該当	村	拠法令等 月	農業集落	排水施設設置及び管理	世に関する条例		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、 何を) 														
		目的(どういう状態にし	最終的	的 農業集落排水施設使用料の収納率100%が目標です。												
		たいのか)	今年度	度使用料滞納者に対し督促、徴収を行います。												
		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
		① 口座振替の普及を促進します。														
	事業の 活動内容	② 滞納者に対して通知文で納付を促すと共に、各戸に訪問し徴収率の向上に努めます。														
		<u>3</u>														
		<u>4</u> <u>5</u>														
	数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	Ż	計算式又は指標設定理由 単位					平成 21	年	平成 22 4	午度	平成 23 年度	最終目標		
		農業集落排水施設使用料			各排水施設使F			目標	1 /9% 21		100 100					
					率(現年度)		%			95.57						
		農業集落排水施設使用料			集落排水施設使用料 率(過年度)		%	目標		100	100 10		100	100		
				収納率()			%0	実績		4	4 17.8					
								目標								
								実績								
	予算費目	会 計			事業特別会		款		用料及び手数		1 使用料			非水施設使用料		
		园 佳 士 山		- 成 2	21 年度》		平成	22	年度決算	平成	23 年月	麦 予算	備考			
		国庫支出金県 支出金		千円 千円			千円 千円					千円 千円				
DO		<u> </u>		十円 千円			千円 千円					千円				
		その他特定財源		千円			千円 千円					千円				
		一般財源		千円				千円		<u> </u>						
		計(A)			0	千円			0 千円			0 千円				
	人件費(B)	正職員工数·経費 0.200 人			1,257	千円	0.200	人	1,225 千円	0.200	0.200 人 1,209 千円					
		臨時·嘱託聯										_				
		臨時·嘱託工数	·経費 0	人 000.		千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円				
	全体事業	業費(A+B)			1,257	千円			1,225 千円		1,2	09 千円				

チェック項目						欠評価	-	一次評価の説明				二次評価		
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0 4	少ない	大きい		農業集落排水施設の適正な管理運営を行うためには、使用料の徴収は欠かせません。しかし水道と違い悪質な滞納者に対				● 大きい		
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	O 1	ない	ある						ある		
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	⊙ 7	ある	○ ない	し、施設	し、施設の使用を止める方法が			ある	○ ない		
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	Ο ι	いる	● いない	ないため	対応に苦慮	試しています。 	0	いる	● いない		
	有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	Ο ι	いえない	● いえる			以上が口座 こついては毎	0	いえない	● いえる		
		2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	Ο ι	いえない	● いえる	年95%		率となってい	0	いえない	● いえる		
C		3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0 7	する	● しない	ます。			0	する	● しない		
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる				0	できない	● できる		
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標によ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					○ 目標に比べて劣っている			
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	O a	あまり上	がっていない	り返した	り返したため例年の3倍から4倍				○ あまり上がっていない		
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	O #	概ね達点	 龙している	の徴収率	の徴収率となっています。				● 概ね達成している		
	}	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。									○ 十分達成している		
	効率性	1.	効果に比べてコストが高い。	O 7	高い	適当			や徴収だけ	0	高い	● 適当		
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0 -	できる	● できな	い払って頂	では限界があり、施設使用料を 払って頂くため有効な方法を考 えていく必要があります。			できる	● できない		
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	O 7	ある	● ない	えていく				ある	○ ない		
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	O 7	ある	● ない				0	ある	● ない		
			一次評価			,		二次評価						
	評値	三点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価		必要性		有効性 達成度 効率性						
	今往	後の	3	千筀	С		4 ፪ ┃	<u>│ 3</u> 犬維持 ┃	 3 _ ○ 方法改善			_ <u>A</u> 引委託等		
Λ		対性					<u> </u>		<u>○ </u>		0 201			
AC			最近集落排水のエリア内にマンションが多く建っています。集落排水の伊	用料は	ーン・エケーのとはませるが、 ケーエケーの 口井 ト									
TION	当面の マンションの加入者個々にかかるため、転入・転出が激しいところでは使用 おずに転出されてしまい滞納分として残って行きます。悪質な滞納者に対し 設の利用停止を含めた対応が必要です。					を払 、施 使用料は、農業集落排水事業特別会計の根幹をなすものです。22年度の収納図								
	改造と事		滞納者に対して、文書で施設の使用停止を警告して、徴収訪問に力を入ます。	れて行	i き	は、向上していますが、更に、継続して、取り組みを進めて下さい。 ・ ・								
		€会 事項												